



# 肝付町立 高山中学校

生徒数 214人  
学級数 8クラス



《テーマ》自分を価値ある存在として実感し、自分の立場と生き方に希望と誇りをもてる子どもたちを育てる。

## 研究に当たって（テーマ設定の理由）

これまでの人権教育を更に充実させ、生徒の自尊感情の高揚と望ましい人間関係づくりのために、学校全体で人権教育に取り組む体制を強化したいと考え、本テーマを設定した。

## 研究スケジュール

4月4日 人権同和教育研究推進計画確認  
7月4日 職員研修【人権同和教育課より】  
8月20日 職員研修（町研修講座 特別支援）  
10月8日 親子人権セミナー（多様な性について）  
【人権同和教育課より】  
12月初旬 人権標語づくり（生徒会生活部の活動）  
2月13日 いじめ問題の講話【人権同和教育課より】  
2月27日 1年間の振り返り

## 特色ある取組（他校にもおすすめの取組）

- 望ましい人間関係づくりのために年間5回構成的グループエンカウンター（SGE）の時間を設定し、「自己理解」と「他者理解」に取り組んでいる。
- 生徒会生活部で、12月の人権週間に併せて全校生徒による「人権標語」作りに取り組み、人権意識の高揚に努めている。
- 親子人権セミナー（R4は10月開催）  
本校では、差別を見抜き、差別を許さず、差別をなくす取組の一環として、人権週間に合わせて親子人権セミナーを開催している。毎年外部から講師を招聘し、人権問題について、生徒・保護者・職員で考える機会としている。  
※ これまでの取組  
R3：犯罪被害者支援センターより講師を招聘し、人権や命の大切さについて学んだ。  
R4：県教育庁人権同和教育課より講師を招聘し、多様な性について学んだ。



【SGE】



【人権標語】



【親子人権セミナー】

## 子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題（子どもの変容、よかったこと、今後やってみたいこと）

- これまでの学習の取組に加えて本プロジェクトに参加したことにより、生徒及び教職員の人権意識を高揚させることができた。また、性的マイノリティなどこれまで考える機会がなかった人権問題について学んだことにより、多様な性を認めるという人権感覚を身に付けることができた。
- 保護者の参加数を増やし、地域の人権意識の高揚に寄与できるよう努力したい。